

# JMS (Japan Mobility Show) 2025

2025/11/30作成  
2025/12/21修正・追加

**MTO技術研究所 所長**  
**兼 加飾技術研究会特別顧問**  
**梶井捷平**

**e-mail: [smmasui.wixsite.com/masui](mailto:smmasui.wixsite.com/masui)**

## レポート目次

\*本レポートは、2025/10/29,30のプレスディで取材したJMS2025のレポートです。

下記の内容となっています。

1. 訪問企業は、自動車メーカー：17社、自動車部品メーカー：9社
2. JMS2025での注目て展示 P 3～6
3. 出展内容一覧表 P 7～9
4. 自動車の展示内容図表 P10～37
5. 自動車部品メーカーの展示内容図表 P38～48

## JMSでの注目展示ー1

## 1. モビリティ全体

1) **水素燃料電池車**を、BMW、現代、豊田合成が展示し、その他のEVも展示が多くなっている。さらに、スズキが**地域の廃棄物からCompressed Methan Gasを生成し**、そのガスで走る車を展示、マツダが**バイオ燃料(微細藻類由来燃料)+CO2回収**で、CO2削減量(-90+-20%)で**カーボンネガティブ**を実現できる車を展示。

2) 一般の自動車以外に、ダイハツが**小型EVコンセプト**、エイムが**島嶼など用の超小型EV**、トヨタが**一人乗りモビリティ**、空飛ぶくるまを展示。

3) Mercedes Benz、BMWなどでは、従来から内外装の**ライティング**が多く用いられているが、日本車でも、**トヨタ、ホンダ技研、スバル**などが**外装ライティング**の車を展示、部品メーカーでも**Valeo/市光、豊田合成、小糸製作所**などが展示、**BYD**も展示。

## 2. システム

1) デンソーが、自動車の機能や性能をソフトウェアで定義・制御し、無線通信(OTA)を通じて購入後も機能を追加・更新・向上させられる次世代の車両基盤**SDV (Software-Defined Vehicle)**を展示した。

2) 小糸製作所が、LED16000個を制御⇒**眩しくないハイビームヘッドランプ**など、**高精度ADV、路面プロジェクション描画**を展示。

## JMSでの注目展示ー2

## 3. 内装

- 1) BMWが、二色(錦)の融合美、五色銀重(ごしきぎんがさね)、コトソメ織カーペットの日本の伝統工芸の内装品(X7 NISHIKI LOUNGE)、トヨタが西陣織、西陣カーボン、秀衡塗の伝統工芸の内装品(センチュリ)を採用し、さらに、竹や木を使った内装品(レクサス)を採用。日産は、組子デザインを採用した。
- 2) ホンダは、複数車(O SUV、O SULLON、SUPER ONE等)で、リサイクル材を用いて、サステナブルマテリアルデザイン(混色成形)を採用し、材着樹脂成形の意匠性向上を行ったが、それ以外の材着樹脂成形品は少なかった。一部、ソフトフィールシボと思われるもの(不確か)が見られた(日産、三菱)。さらに、ダイハツの小型EVは、実車では、サステナブルマテリアルデザイン(混色成形)を採用すると想定される。
- 3) 全般的に、ファブリック、TPE(クッション層あり、なし)を採用したソフト表皮貼合品は多く見られた。一方で、フィルム加飾の採用は少なかった。
- 4) 内装のライティングは、ホンダ、Mercedes Benz、MINIで見られたが、事前に予想したほど多くはなかった。
- 5) CF織物柄の内装も、Mercedes Benz、BMWで見られたのみだった。

## JMSでの注目展示ー3

#### 4. 外装

1) フロント部、フェンダー等で材着無塗装品が見られた(スズキのNOMADEなど)がボディパネルでは、BYDのEVのみで確認した。BYDは大きなリアスポイラー、その他の外装にCFRPを採用していた。

その他、エイムの超小型EVのボディは、プラスチックだったと思われる。さらに、ダイハツの小型EVコンセプトは、コンセプト車は、金属だが、実車ではプラスチックを想定している。

2) 外装のライティングは、1. 3)で、示したが、それ以外に、Mercedes Benzがマトリクス発光グリルを採用し、このグリルは、今後のEV車全てに採用すると説明された

3) ホンダは、3. 2)示したサステナブルマテリアルデザイン(混色成形)を外装にも採用していた。

## JMSでの注目展示ー4

## 5. その他の部品

## 1) 豊田鉄工

- ・ トヨトツ：裏面微細凸形状の表皮と基材を、組付けで一体化して、ソフト表面自動車内装部品に

## 2) FALTECH

- ・ レーザーカット加飾、3Dイルミネーションランプ、カラーハイグロス金属調塗装、3Dパッド印刷

## 3) AUNDEN

- ・ 高付加価値ファブリック、光透過ファブリック、見る角度で色が変わる自動車内装用織物など

## 4) ブリジストン

- ・ エアフリータイヤ：パンクがなく、空気充填不要、再生可能資源利用。視認性の高い青色を使用。
- ・ 月面探査車用タイヤ：薄い金属製スポーク、回転方向に分割したトレッドで、空気不要、強烈な放射線・激しい温度変化に耐える

## 5) AGC

- ・ ライティング付き調光ガラス：調光機能（透過率/位置制御）＋ライティング（プライベート空間演出）

## 6) 小糸製作所

- ・ 融雪ヘッドランプ

表1 JMS (Japan Mobility Show) 2025 自動車代表展示例ー1

会社	展示項目	内容
レクサス	LSコンセプト 6輪	車内空間を広げるために後部のタイヤを小さい4輪にした6輪車、竹や木を使った内装、他に、次世代スポーツ
センチュリ	Centuri クーペ(緋色ボディ)	西陣織、運転席と後部座席の間に仕切りなど
	Centuri GR(白色ボディ)	白色基調の内装、西陣カーボン、秀衡塗パネルなど
トヨタ自動車	カローラ Callora	立体発光パネル(レンズ)、自由なパッケージ マルチパスウェイ
	空飛ぶくるま(Joby Aviation)	回転翼/固定翼複合タイプ、乗員:5人、最高速度:322km/hr、航続距離:160km
	一人乗りモビリティ(コモスーX)	ラストワンマイル輸送
ホンダ技研	0 SUV	LED照明、大型ディスプレイ、内装にサステナブルマテリアルデザイン(Sustainable Material Design、SMD、混色成形)
	0 SULLON、SUPER ONE	内装にSMD(混色成形)
	マイクロEV	内外装にSMD(混色成形)
日産自動車	ELGRAND	ソフトインパネ、内外装組子デザイン、マトリクス発光フロントパネル
	ARIYA	フィルム木目柄、その他の柄、銅色のライン(Cu?)、ソフトシボ
マツダ	VISION X COMPACT	バイオ燃料(微細藻類由来燃料)+CO <sub>2</sub> 回収で、CO <sub>2</sub> 削減量:(-90+-20%)でカーボンネガティブ実現
三菱自動車	ek SPACE	内装 白と黒、白の部分はソフトフィールシボか?(外装、ボンネットなどは金属)
スバル	(車種名確認できず)	フロント部にライティング

表2 JMS (Japan Mobility Show) 2025 自動車代表展示例ー2

会社	展示項目	内容
スズキ	VICTORIS	地域の廃棄物からCompressed Methan Gasを生成して、そのガスで走る
	NOMADE (Jimny)	フロント部、フェンダー等は材着無塗装、ルーフ(ブラック)は未確認、内装にファブリック
ダイハツ	小型EV コンセプト	コンセプトで、実車では再生材使用想定、外板もプラスチック想定
Mercedes	The all-new electric GLC.	マトリクス発光グリル、ベゼル、このグリルは、今後ベンツのすべてのEV社に搭載される
	Benz	AMG
	The all-new electric CLA	発光グリル(スターマーク)、CF織物柄メタリックコンソール
BMW	iX5 Hydrogen	水素燃料電池車、発光フロントパネル/グリル
	X7 NISHIKI LOUNGE (コンセプトモデル)	外装:ベルベット・ブルーとスペース・シルバーの2トーン・ペイント、 内装:二色(錦)の融合美、五色銀重(ごしきぎんがさね)、コトソメ織カーペット
	M2 CS	CFRPボンネット、CFRP織物柄内装
MINI	JHON COOPER WORKS ACEMAN他	インパネ:ファブリック光透過
BYD	YANGWANG U9	ボディはプラスチック、大きなリヤスポイラーなど多くにCFRP、前後に大きなライティング(2026年に日本で販売)
シャープ	LDK+	自宅駐車時は部屋として活用(エンタメ/ビジネス/等)、太陽光発電(2027年度の市場参入予定)
KIA/双日	EVバンPBV	2026年春ごろに「PV5」の販売を開始
エイム社	超小型EV(島嶼など用)	「超小型モビリティ認定制度」の基準を満たした車両

表3 JMS (Japan Mobility Show) 2025 自動車部品代表例

加飾テクノロジー

会社	展示項目	内容
豊田合成	水素電池車コンセプト	サステナブル外板、ポータブル水素カートリッジ、ボディサイネージ、ポップアップフェンダー搭載
	車両フロント部透過技術	ミリ波レーダ対応⇒LED発光⇒発光機能付きミリ波レーダ対応⇒ <b>メタリック調塗装面への光透過へと発展</b>
	「Welpit(ウェルピット)」	乗員の体調や気分をレーダでセンシングし、状態に合わせて車室内を光・音・香りなどで演出し、リラックス空間を創出
	ライティング利用自動車部品	ライティング利用の車両が歩行者などを検知表示
Valeo/市光	次世代車のフロント・リアフェイス	電動化と自動運転車両に向けた <b>新しいインテリジェントなライティング</b> (まだ法的に認められていないもの)
デンソー	SDV(Software-Defined Vehicle)プラットフォーム	自動車の機能や性能をソフトウェアで定義・制御し、無線通信(OTA)を通じて購入後も機能を追加・更新・向上させられる <b>次世代の車両基盤</b>
小糸製作所	高精度ADV、路面プロジェクション描画	LED16000個を制御⇒ <b>眩しくないハイビーム</b>
	フロント部ライティング	フロント部ライティング
	融雪ランプ	熱くならないように工夫
豊田鉄工	トヨタ	<b>裏面微細凸形状の表皮と基材を、組付けで一体化して、ソフト表面自動車内装部品に</b>
FALTECH	各種加飾技術	<b>レーザーカット加飾、3Dイルミネーションランプ、カラーハイグロス金属調塗装、3Dパッド印刷</b>
AUNDEN	自動車内装用織物など	<b>高付加価値ファブリック、光透過ファブリック、見る角度で色が変わる織物も</b>
ブリジストン	エアフリータイヤ	パンクがなく、空気充填不要、視認性の高い青色、再生可能資源利用⇒スローモビリティに使用開始
	月面探査車用タイヤ	薄い金属製スポーク、回転方向に分割したトレッドで、空気不要、強烈な放射線・激しい温度変化に耐え、微細な砂地に潜込まない
AGC	ライティング付き調光ガラス	<b>透過率/位置制御調光機能+ライティング(プライベート空間演出)</b>
	ディスプレイ用加飾 カバーガラス	3Dカバーガラス

# 自動車

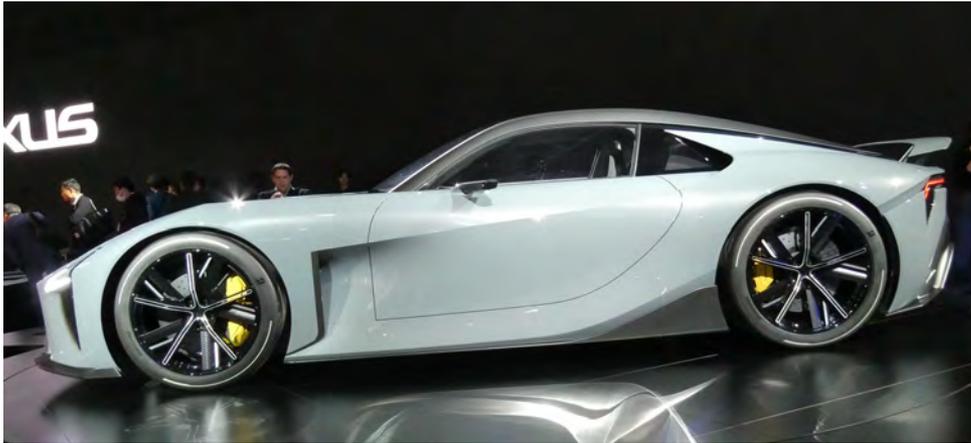
(加飾の観点等から見た代表例)

# 図1 トヨタ LEXUS LS、LS SPORTS CONCEPT

加飾テクノロジー

## LSスポーツコンセプト

ワイド&ローの次世代スポーツカー



## LSコンセプト

車内空間を広げるために後部のタイヤを小さい4輪にした6輪車



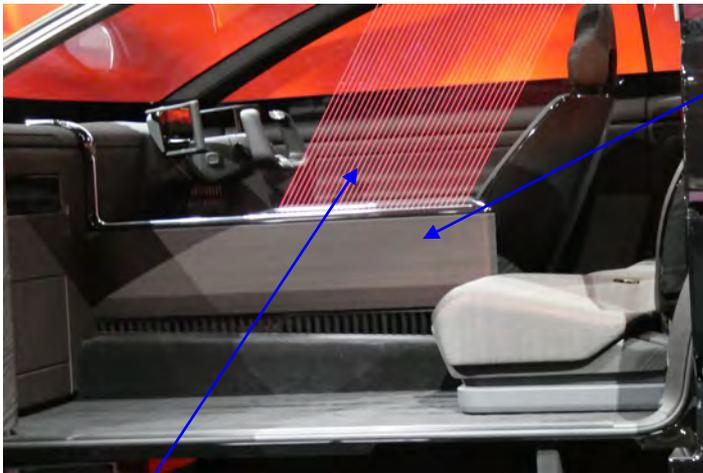
竹や木を使った内装

図2 トヨタ CENTURY(緋色)

センチュリを自社の最上位ブランドとして独立



内装に日本伝統工芸品(西陣織など)



運転席と後部座席などの間に仕切り

図3 トヨタ CENTURY(白色、マットブラック)

加飾テクノロジー



西陣カーボン



(緋色基調内装)



秀衡塗パネル



(白色基調内装)

図4 トヨタ CAROLLA



立体発光パネル(レンズ)



自由なパッケージ マルチパスウェイ

図5 トヨタ JOBY、COMS-X

Joby Aviation 空飛ぶクルマ



- ・タイプ: 回転翼/固定翼  
複合タイプ
- ・乗員: 5人
- ・最高速度: 322km/hr
- ・航続距離: 160km



コモスーX

ラストワンマイル輸送

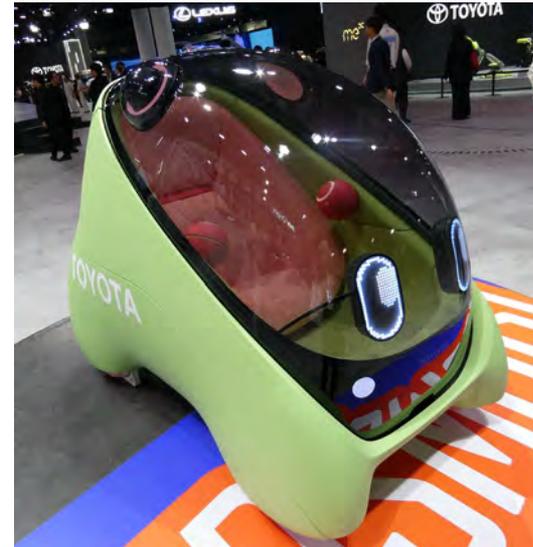


図6 ホンダ 0 SUV



LED照明、大型ディスプレイ、サステナブルマテリアルデザイン(混色成形)

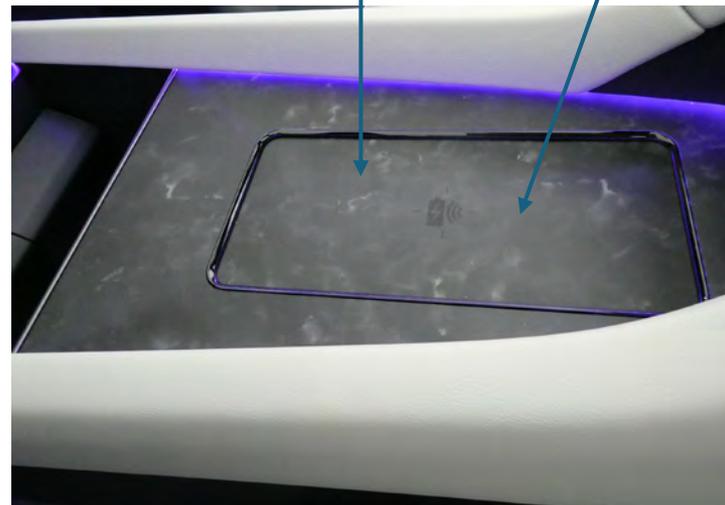


図7ホンダ O SALOON、Super-ONE プロトタイプ

O SALOON

リアアンダーにサステナブルマテリアルデザイン(混色成形)

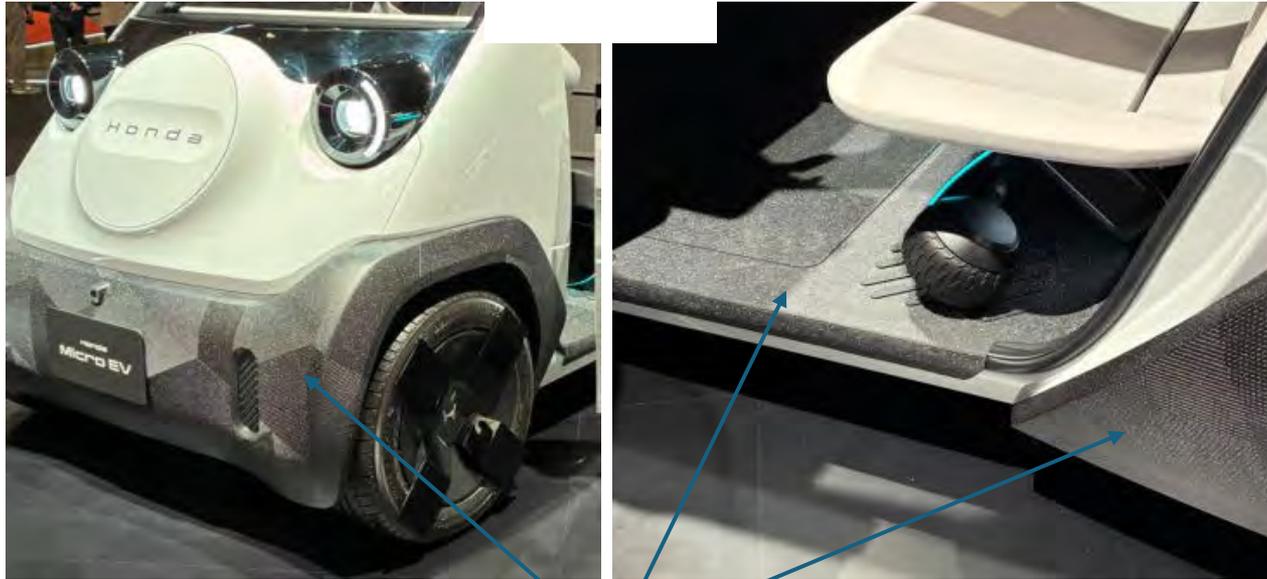


SUPER-ONE

リアパネルにサステナブルマテリアルデザイン(混色成形)



図8 ホンダ マイクロEV



サステナブルマテリアルデザイン(混色成形)

# 図9 日産 新型 ELGRAND

内外装:「組子」デザイン、マトリクス発光フロントパネル



図10 日産 ARIA

ARIA



フィルム木目柄、その他の柄、銅色の線: Cu?、ソフトシボ

図11 マツダ VISION X COMPACT



バイオ燃料+CO2回収 削減量: -90%(微細藻類由来燃料)、-20%(CO2回収装置)  
⇒カーボンネガティブを実現

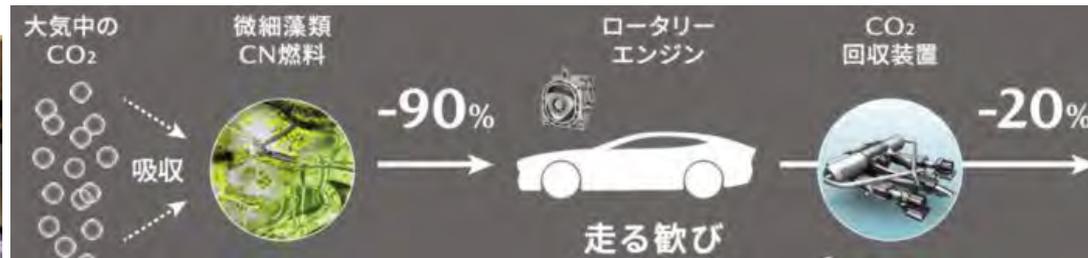


図12 三菱自動車 ek SPACE



- ・外板、ボンネットなどは、金属
- ・内装 白と黒、白の部分ソフトフィールシボか？



図13 SUBAR (車種名確認できず)



フロント部ライティング



図15 スズキ NOMADE (Jimny)、eVITARA

NOMADE (Jimny)



外装: バンパー、フェンダーは原着樹脂  
ルーフ(ブラック)は未確認  
内装:ファブリック

eVITARA



内装:ファブリック、TPE(/PPF)

図16 ダイハツ 小型EVコンセプト

加飾テクノロジー



展示は、コンセプトで、  
イメージ  
実車では、再生材使用  
想定、外板もプラス  
チック使用想定



図17 Mercedes Benz The all electric GLC



マトリクス発光グリル

今後、Benzの全EVのフロントは、これに統一される。



発光ベゼル

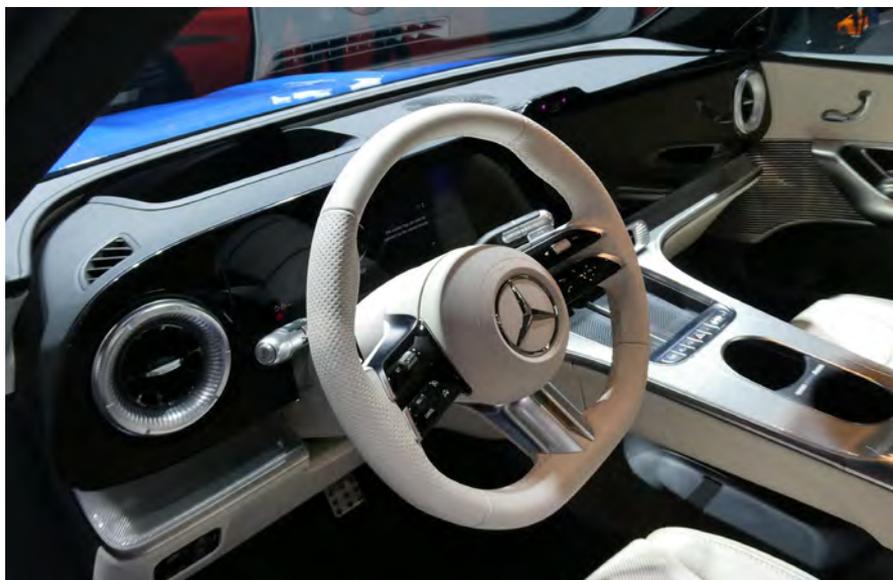


図18 Mercedes Benz 新型CLA(The all Electric)



発光グリル(スターマーク)



CF織物柄メタリック  
コンソール



発光ベゼル



図19 Mercedes Benz AMG



内外装 ライティング

図20 BMWの iX5 Hydrogen

水素燃料電池車、発光フロントパネル/グリル



# 図21 BMW X7 NISHIKI LOUNGE (コンセプトモデル)

加飾テクノロジー

(2025/2/3時点で販売予定なし)



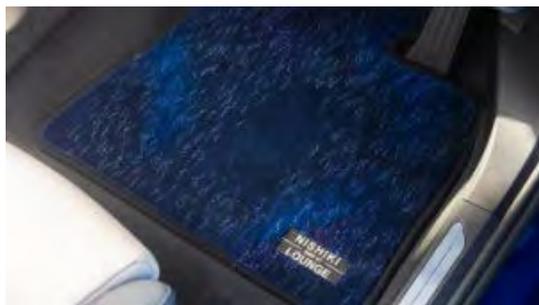
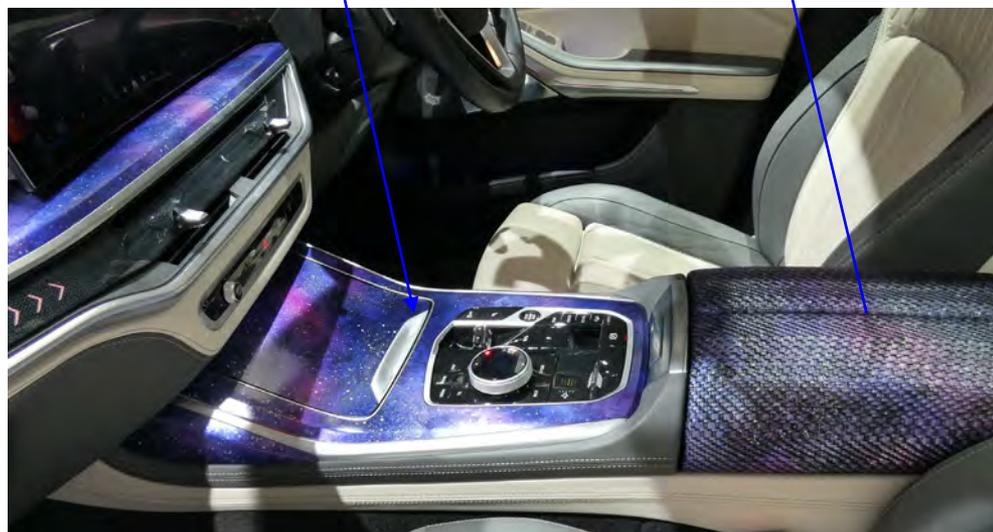
ベース色であるBMW Individual ベルベット・ブルーと、ボディ上部を彩るスペース・シルバーの2トーン・ペイント

伝統と挑戦。二色（錦）の融合美



五色銀重（ごしきぎんがさね）

二色（錦）



コトソメ織カーペット

図22 BMW M2CS、M4CS

加飾テクノロジー

M2 CS



CFRPボンネット CFRP織物柄内装



M4 CS



図23 MINIの JHON COOPER WORKS ACEMAN



光透過ファブリック？



図24 BYD YANGWANG U9



CFRP



- ・ 2026年に日本で販売のEV（このままで）
- ・ ボディはプラスチック、大きなリヤスポイラーなどの多くにCFRP
- ・ 前後に大きなライティング

図25 シャープ LDK+ (鴻海科技EVベース)

自宅駐車時は部屋として活用(エンタメ/ビジネス/等)、太陽光 発電  
2027年度の市場参入を目指す



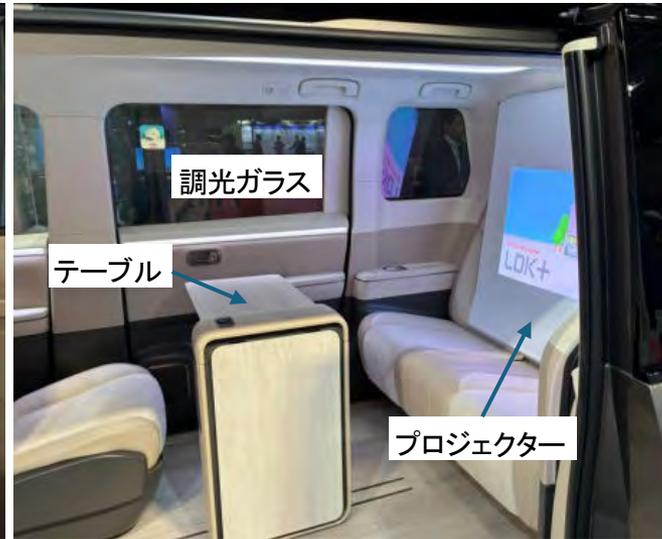
ソーラーパネル



フロントパネル



室内(前部)



室内(後部)

図26 KIA／双日 EVバン PBV

2026年春ごろに「PV5」の販売を開始



図 2 7 エイム社 超小型 E V (島嶼など用)

- ・国土交通省が定める「超小型モビリティ認定制度」の基準を満たした車両として認定。
- ・2名乗車が可能
- ・最高車速60km/h、高速道路(高速自動車国道)走行不可。



自動車部品  
(加飾の観点等から見た代表例)

図28 豊田合成—1

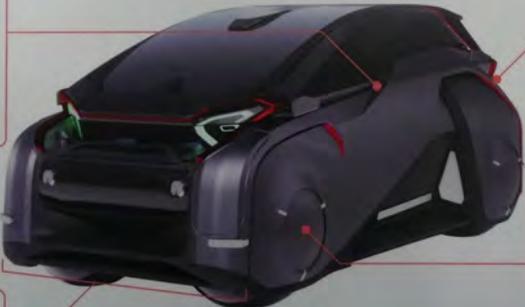
加飾テクノリサーチ

# 水素電池車コンセプト FLESBY HY-CONCEPT

- 水素エネルギーの活用において、モビリティと暮らしがシームレスに繋がる未来を提案
- 歩行者やサイクリスト(自転車に乗る人)などの安全性を高める新技術を搭載するほか、ボディにはリサイクル材を活用

**ボディサイネージ機能**  
Body Signage Function

歩行者などに光や音で運転状況をお知らせする「通知機能」を付与。

**ポータブル水素カートリッジ**  
Portable Hydrogen Cartridge

クルマ・スクーターなどのモビリティや、家庭用電源など、様々な生活シーンで活用される様子をイメージ



**ポップアップフェンダー**  
Pop-up Fender

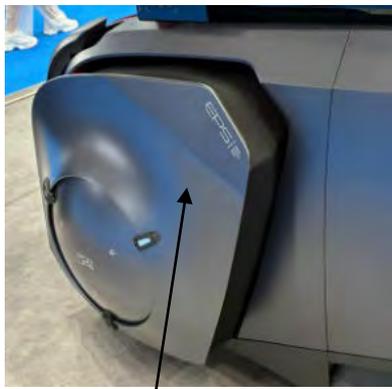
自転車などの衝突時にボディの一部が張り出し、衝撃を吸収することで、乗員が投げ出される勢いの軽減および、方向のコントロールを目指す

※フロントノーズ(ボンネット等)が軽い車体デザインに対応



**サステナブル外板ボディ**  
Sustainable Exterior Panel Body

バンパーなどの外板ボディにプラスチックやゴムのリサイクル材を使用



ポップアップフェンダー

- ・サステナブル外板: 外板ボディにプラスチック、ゴムリサイクル材使用
- ・ポータブル水素カートリッジ: モビリティ、家庭電源など活用されるイメージ想定
- ・ポップアップフェンダー: 自転車等の衝突時に、ボディの一部が飛び出して、衝撃吸収
- ・ボディサイネージ機能: 歩行者に光や音で通知



「Welpit (ウェルピット)」



温泉モード

リフレッシュモード

音楽ゲームモード

乗員の体調や気分をレーダでセンシングし、状態に合わせて車室内を光・音・香りなどで演出することで、リラックス空間を創出

車両フロント部透過技術

- ミリ波レーダ対応エンブレム
- ⇒LED発光エンブレム
- ⇒発光機能付きミリ波レーダ対応エンブレム
- ⇒メタリック調塗装面への光透過

ミリ波レーダや光を透過する「エンブレム」と「フロントパネル」でクルマの顔であるフロント部の多様な意匠ニーズに貢献

Millimeter wave radar and light-transmitting "emblems" and "front panels" contribute to various design needs of car fronts

■ 発光機能付きミリ波レーダ対応フロントパネル(開発品)

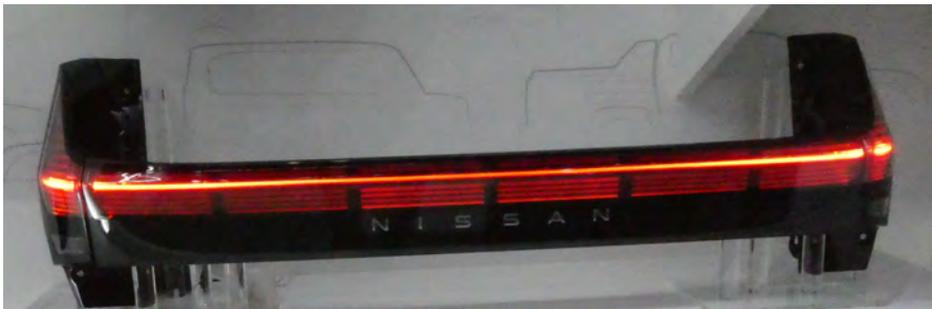
波長とメタリック材の配合技術、塗膜厚の最適化により、光輝感の強い白でもレーダの透過が可能

(参考) 外装部品の意匠性と機能性を両立させる当社の技術開発

年	エンブレムへのミリ波の透過	エンブレムへの光の透過	エンブレムへのミリ波・光の透過	塗装面へのミリ波・光の透過
2003年	2003年	2022年	2023年	2025年
ミリ波レーダ対応エンブレム	LED発光エンブレム	発光機能付きミリ波レーダ対応エンブレム	光透過技術にメタリック調塗装面へのミリ波透過	

※ 他社調べ、2023年4月末時点

次世代車のフロント・リアフェイス



法的に認められている表示



未だ法的に認められていない表示

図31 小糸製作所一

路面プロジェクション描画

(カローラクロスに世界初搭載)

道路利用者(歩行者/自転車など)に  
車両の動きを伝達



高精細ADV LEDヘッドランプ



LED16000個を制御⇒眩しくないハイビーム(路面描画も検討中) (展示会から)

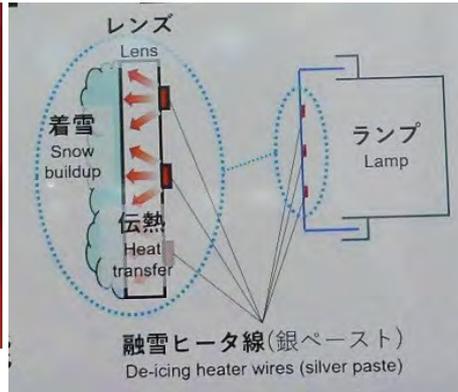
図5-2-16 今後の自動車外装、システムイメージー6

図32 小糸製作所一2

融雪ヘッドランプ



ライティング



(融雪リアコンビネーション)

(システム)

図33 豊田鉄工

とよとつ



従来品に対し、裁断端材の廃棄レス、接着材レスと、組付け後でも表層と基材を簡単に分離でき、リサイクル100%可能で環境に優しい

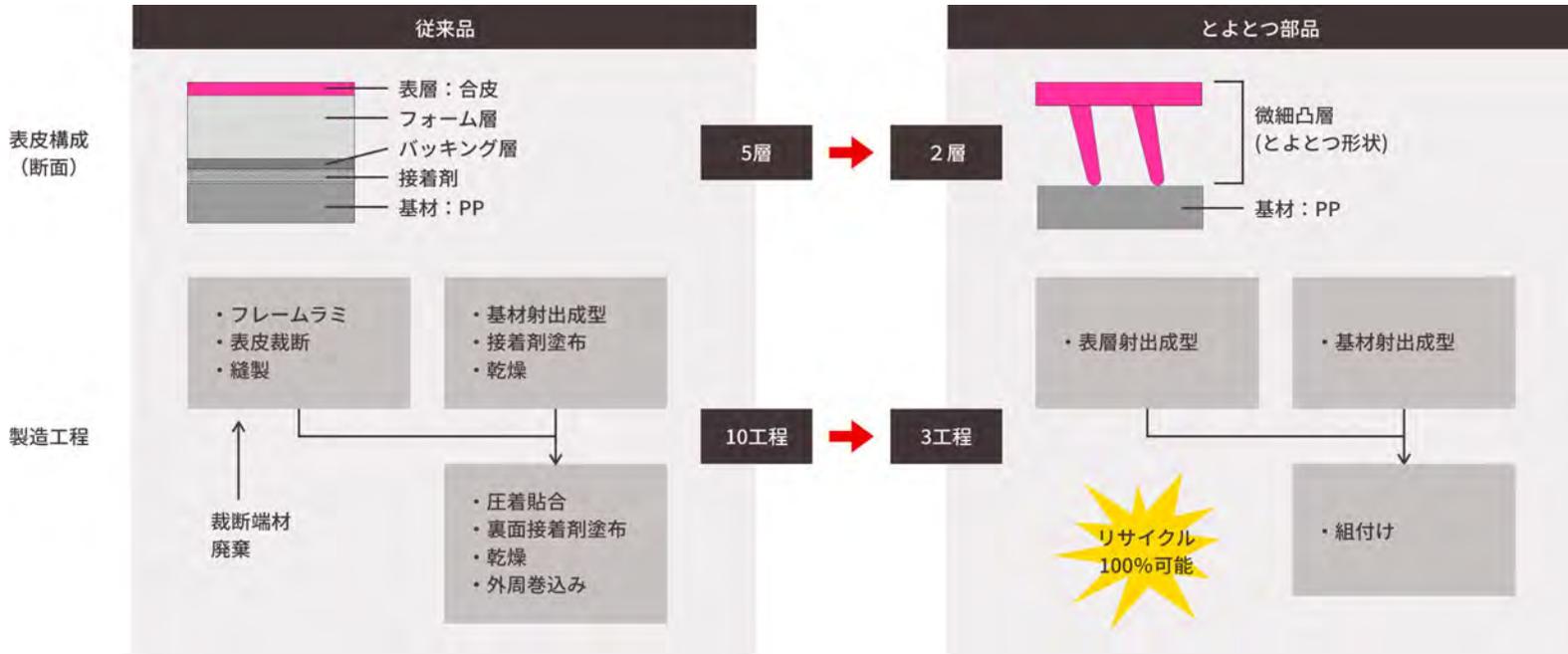
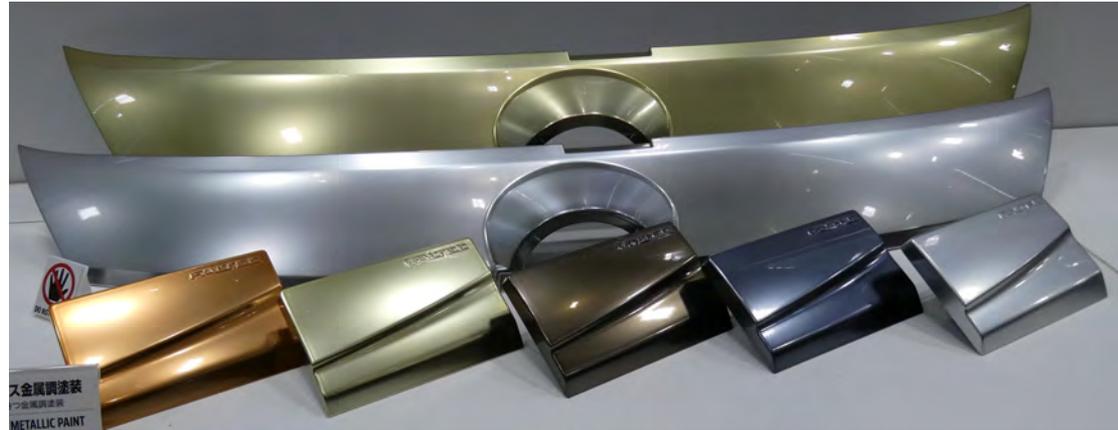


図34 FALTECの加飾技術



レーザーカット加飾



カラーハイグロス金属調塗装



3Dイルミネーションランプ (ON/OFF)



3Dパッド印刷 (3D形状に対応したパッド印刷)

図35 アウンデ紡織

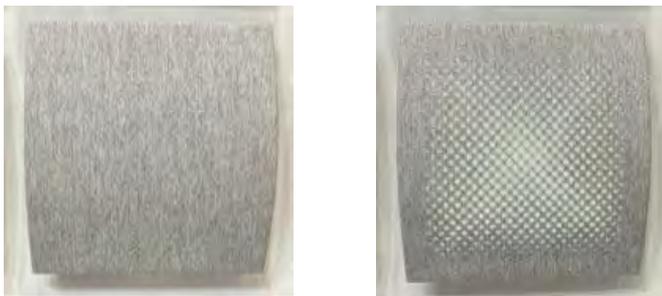
自動車内装用織物など



高付加価値ファブリック



見る角度で色が変わる織物も



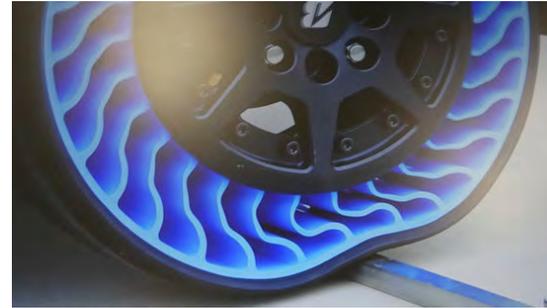
OFF

ON

光透過ファブリック

## 図36 ブリジストン

エアフリータイヤ



- ・パンクがなく、空気充填不要
  - ・視認性の高い青色
  - ・再生可能資源利用
- ⇒グリーンスローモビリティに使われ始めている

月面探査車用タイヤ



- 薄い金属製スポーク、回転方向に分割したトレッド⇒
- ・空気不要
  - ・強烈な放射線、激しい温度変化に耐えられる
  - ・微細な砂地でも潜り込まない

図37 AGC

ライティング付き調光ガラス

調光機能（透過率/位置制御） + ライティング（プライベート空間演出）



ディスプレイ用加飾 カバーガラス

